

| $\begin{array}{\|l\|l} \text { 意向別 } \\ \text { 区 分 } \end{array}$ | ® $_{\text {農地を売つ }}^{\text {ても }}$ | （2）${ }_{\text {辳地を買い }}$ |  | （4）無回答 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| （226．3（363．2 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |


| 意向別 <br> 区 <br> 分 | （1） | 3 | （2）な | $\cdots$ | （3）無 回 答 |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |

全 市（167．1上墲谷（177．4下䭪谷（164．8 1 （229．2
荷 㖽（175．9





| $\begin{aligned} & \text { 意向別 } \\ & \text { 区 分 } \end{aligned}$ |  | 毎年ではな （2）いが時とき ある | （3）行かない | （4）無回答 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |


|  | 市 | （121．8 | （27．5 | （353．8 | （4）16．9 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |


| 上蝗谷＠11．1 | 28．6 | （366．8 | （4） 13.5 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |



荷 頃 | （115．1 | （29．6 | （3）22．0 |
| :--- | :--- | :--- | :--- |

| 束 谷 | （1）20．4 | （26．4 | （349．6 | （423．6 |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |





間 数年先を見通した中で，現在耕作してい る数地（田•㚼）の売買について……。

「売質は考えていない」が中野俣•半蔵金地区を除いて50バーセント以上を示し，「茦当な価格であれば筫いたい」が $30 ~ 40$ ハーーセ ント。「売っても良い」が，多い地区でも5 バーセント台で，農地の流動化の難しさをも のかたっています。
また，図表にしませんが，「陙地の貨貸借」 については，「しない」が少ないところで55 ハーセント，多いところでは70バーセントを超える地区がありました。

## 間 耕作してゆくうえで，現在不便な田は

半数以上か䄶作に不便と答えています。し かし，中野俣•半蔵金，西谷，入柬谷地区で「不便を隐してない」の事が以外に高いこと に目をひきます。
耕作に不便を感しているかたに「ほ場整備」 を筫問したところ，上塩谷，下塩谷地区か「50 ～60パーセント。他の地区でも40～50ハーーセ ント近くか「「実施したい」と答えています。

間 あなたの家では，となたか出橡きに行き ますか。

辛の高い方から中野俣•半藏金，西谷，入東谷，東谷地区の順になっていますか，中野俣•半蔵金地区では69ハーーセントと高率です。出㯲き解消について……。は，は，（1）通勒可能地に企業諑致，（2）専業宸業として通年働け 3営裖形嚮の碓立，（3）冬期間の内職（民芸品特産物加工）の粞励などの順になっています。


## 地域農政特別过策事業

＊農業者が体験を通して，話し合いの中から而い出結論に国•市が積極的に援助していく農業政策……。
この事業を進めるための一つとして，昨年10月に行つ たのが農家意向調査てす。

物力いたたいた農家は……。

- 経営耕地面積が10アール以上の農家。
- 経営耕地面積が10アール末満か全くなくても過去1年

間，農産物の販売顴の合計が 7 万円以上あった農家。
農家戸数が，甽内，部落全戸数の $10 /$ 「ーセント末蓒の ところは対象外としました。

| 地区名 |  | 囬家政驚 | 回答重何 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 上程谷 | 495 | 371 | 74.9 |
| 下㱡谷 | 517 | 352 | 68.1 |
| 洳尼北嗡 | 347 | 261 | 75.2 |
| 荷 頃 | 577 | 469 | 81.3 |
| 束 谷 | 650 | 486 | 74.8 |
| 入東谷 | 256 | 193 | 75.4 |
| 西 谷 | 178 | 135 | 75.8 |
| 虫昆哭金 | 393 | 336 | 83.0 |
| 詨 | 3，413 | 2，593 | 76.0 |

問 今後の辰業経営の基本的方向につ いてとのように考えていますが約 5 年先を見通して）

左の図をご筧くだきい。「現状のま まで裞けていきたい」が圧侽的に多く全地区とも50ハーーセントを超え，東谷地区は，これを大きく超えたのか目を ひきます。
つきに「経営规模を拡大したい」が多く，東谷，荷頃地区，下塩谷地区を除く5地区が，全市平均の19パーセン トを上回りました。とくにここでは，東谷地区か少なく，町部から離れた中野俣•半蔵金，西谷，入東谷地区にそ の大きさがみられます。また，「見通 しがたたない」と答えた農家か10パー セントを超えていることも見进がせま せん。
表にしてありませんか「「現状のまま続けたい」と答えたかなは「蝔業収入 たけでは生計が困敬。兼業している」「鹿外収入の方が多く生活が安定して いる」という理由です。





| 意向別 | （1）い |  | （2）い な |  | $\therefore$（3）無 | 回 答 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 全 市（146．6 |  |  |  | （2）36 |  | （3）17，3 |
| 上晧谷（149．9 |  |  |  | （2）3 |  | （3）16．9 |
| 下垠谷（153．7 |  |  |  | （2）28 |  | （317．9 |
| 靟谷北掊（152．1 |  |  |  | （230 |  | （3）17．2 |
| 倚 | （1）44．4 |  |  | （2）37 |  | （3） 17.9 |
| 東 | （143． 6 |  |  | （2）35． |  | （321．0 |
| 入束谷 | Q38．9 |  |  | （242． |  | （318．6 |
| 西 谷 | （1）50．4 |  |  | （237． |  | （3）2．6 |
|  | （144．4 |  |  | （246． |  | （312．0 |
| ＊0\％ | $10 \quad 20$ | 30 | 50 | 60 | $70 \quad 80$ | 90 |

## 問 あなたの家には，辳菜後経者はいますか。

「いる」という答えが $40 \sim 50$ パーセント台 で，「いない」という答えが $30 \sim 50$ パーセン トです。いずれにしても「いない」という事 か高いことは，今後，真剣に対応しなければ ならない問通です。
宸業後粎者に，いま，もっとも必要な施策
業の大型化•近代化」が 2 位，「出榢きのの解消」が 3 位，「仲間づ $り$ の研牿」が 4 位な どした。
地域別では，中野俣•半㶃金地区の「出梌

 を示したのが特檴です。


全 市（120．3 |  | 上埕谷（1）21．8 | （230．2 | （328．3 |  |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |
|  | （419．7 |  |  |  |下䩥谷（O15．9（2）23．6（329．8


束 谷 ©（19．1｜（216．9 $\quad$（3）33．1 $\mid$（430．9
西 谷（O23．7


| 意向別 <br> 区 分 | （1） |  |  |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |
| 住みよい | （2）住みにくい | （3）とちらちとも | （4）無回答 |

 \begin{tabular}{l|l|l|l|}
\hline 上胙谷（1）29．6（221．0 \& （336．7 \& （412．7 <br>
\hline

下些谷 

\hline （1440．9 \& （2）11．1 \& （332．4 \& （4） 15.6 <br>
\hline
\end{tabular}

荷 㖽（D28．4 $\quad 1$（223．9

入来谷（O16．6 $\quad$（233．2西 谷（1）22．2 1（2）26．7


## 

全市的にみると「劦業作業をする気はまつ たくない」が28パーセント近くを示し，制回答の車を加えると 50 パーセント近くたなり，協業作業の雉かしてがうかが方ますが，「仲 つくりができれば是非やりたい」かった。 せント。「やりたいと思うが，なかなか話が とまらない」が23バーセントと意志のある っのを加えると，見通しはないとはいえませ この問いには，全地区とも同しような結 がでました。

間 自分の部落の住みここちを現在とう思っ ていますか。

市全体では，「住みよい」が33パーセン「住みにくい」が19パーセント。「どちらと おいえない」が32バーセントとなっています が，入東谷，西谷地区では，「住みにくい」 と答えたかたが多いようです。しかし，中野俣，半蔵金地区は「住みよい」が，市全体の平均を超えています。

なせ「住みにくいか」に対しては「大雪」 と答えたかたが，77パーセントという高率を示しました。



を尼ちお

## 

ツ反応検査と B C G 6月20日から実施いたします。詳しいことは，5月25日発行の「おしらせ版」に㧦載してありますの で，よくご管くだきい。

## 三種混合日程表

| 原 橉 | 月 日 | 対象者 | 時 閏 | 全场 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 6月16 |  | 午後1時半 <br> 午後 2 時 | 市长会馆 |
| $\begin{array}{\|l\|l\|} \hline \text { 三艉混合 } \\ 1 \text { 期もれ } \end{array}$ | 7月4日 |  |  |  |
| $\left\lvert\, \begin{gathered} \text { 三楮眼合 } \\ 2 \end{gathered}\right.$ | 7月12日 |  |  |  |










## 昭和53年6月1日から

印鑑登録•証明の制度が変りました


$$
\binom{\text { 現在登録されているかたで, 引き続き登録を心要とされるかたは, 昭和54年 }}{5 \text { 月31日までに登録替えをしてください。 }}
$$

$\qquad$

## 1 これからの印籃登淾の手続きは次のようになります



## 



| おいでになるかた | 持ってくるるもの |
| :---: | :---: | :---: |


| $\left(\begin{array}{c} \text { 登録替え前のかたで, } 6 \text { 月 } \\ 1 \text { 日以降, 初に証明か必要 } \\ \text { な時は, 登睩替えを同時に行 } \\ \text { っていただき, その時のみい } \\ \text { ままでとおうりの証明羍を交付 } \\ \text { いたします。 } \end{array}\right)$ |
| :---: |

[^0]

## あなたの場合は

いままでにも何回かましらせしてまいりましたが，6月1日か 5 新しい方式での登録•証明書の発行を開始いたしました。
今回は，みなさんガスムースに登録替え，あるいは新たな登録 ができるよう，いままでのものをまとめておしらせいたします。 あなたの埸合にあてはめて，手続きを済ませてください。

くわしいことは市役所市民課

におたずねください




名簿にのっていない人は投票できません


選挙による委員定数は 15 人


農業委員選挙の選挙運動







[^1]











立候補予定者説明会
選挙管理委員会は，7月14日塎行子定の析尾市農業积員会委貝一般選挙に立候禣を子定きれているかたに立候補手続き，選挙琎動のことなとの説明会をきたる 6月29日（木榫
当日は，立候補届の記枋方法なと届出に必要な書類 をお㴖しして誢明します。
（なお，会場等㳸傏の都合がありますので，1候補者


しぐちお
おしら世版。2020

予 防 接 種 （1）ッベルクリン注射は間診票がありませんので，母
子手服を持参してくなだい。なお， 6 月に曼けらっれ なかった人も，今回受けてくたきい。

| 隀䫅 | 月 日 | 封急者 | 時 開 | 全易 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | $\begin{gathered} \text { 7月4日 } \\ \text { (w) } \end{gathered}$ |  |  | 市 |
| $\begin{aligned} & \text { ッヘルク } \\ & \text { リン萑射 } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & 7 \text { 月11日 } \\ & \text { (w) } \end{aligned}$ |  | 午後1時半 | 民 |
| $\begin{aligned} & \text { 三䄻混合 } \\ & 2 \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & 7 \text { 月12日 } \\ & \text { (木) } \end{aligned}$ |  | 午後 2 時 | 会 |
|  | $\begin{aligned} & 7 \text { 月13日 } \\ & \text { (木木相 } \end{aligned}$ |  |  | 䇫 |

乳幼児検診
6 か月児検診／茶わん・スプーン・筆記用具を持参

〈注意〉必ず母子手艮を持参してくだきい。

| 検診別 | 月 日 | 時 間 | 奶象者 | 全場 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 7月11日 | $\begin{aligned} & \text { 午後1時 } \\ & \text { 表で其 } \end{aligned}$ | $\text { 53年 } 4$ 月生 | $\begin{aligned} & \text { 市 } \\ & \text { 役 } \end{aligned}$ |
| 3 䌠児椣枵 | 7月12日 | 午後 0 時半 まで集合 | 50年 2 |  |
| 1 城半見椮枵 | 7月13日 | $\begin{aligned} & \text { 午隹罦涬 } \end{aligned}$ | 52年 1 | 所別师 |
| 6か月咷倹涻 | 7月14日 | ＂ | 53年 2 <br> 月生れ |  |
| 凩児相站 | 7月24日 | ＂ |  |  |



## 雱

 －みがヘり紕い！

品䋈


## 料金早見表の見方

|  | $\begin{aligned} & \hline \text { 椺 } \\ & \stackrel{\text { B }}{6} \end{aligned}$ | 然 | $\begin{aligned} & \hline \text { 繁 } \\ & \text { 总 } \end{aligned}$ |  |  |  | $\begin{array}{\|l\|l} \hline \text { 类 } \\ \text { 昆 } \\ \text { a } \\ \hline \end{array}$ | $\begin{aligned} & \text { 区 } \\ & \text { 마 } \end{aligned}$ | $\stackrel{\circ}{\stackrel{\circ}{\circ}} \stackrel{\rightharpoonup}{\wedge}$ | $\begin{aligned} & \text { O} \\ & \stackrel{0}{n} \end{aligned}$ | $\begin{gathered} \underset{\sim}{\sim} \\ \underset{\sim}{2} \end{gathered}$ | $\stackrel{\text { ® }}{\stackrel{\text { ® }}{\sim}}$ | $\begin{aligned} & \infty \\ & \mathbf{0} \\ & \mathbf{0} \\ & \infty \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\sim}$ | $\underset{\infty}{\underset{\infty}{\underset{\sim}{*}}}$ | $\underset{\sim}{\sim}$ | － | － |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| $\begin{aligned} & * \\ & * \\ & + \\ & i= \end{aligned}$ | $$ | $\begin{array}{c\|} \hline \stackrel{\circ}{\circ} \\ 1 \\ \stackrel{N}{2} \\ \hline \end{array}$ | $\begin{gathered} 0 . \\ \hline i \\ \frac{1}{2} \\ \frac{1}{5} \end{gathered}$ |  | 4 |  | $\begin{array}{\|l} \hline \text { 类 } \\ \text { 搨 } \\ \text { 年 } \end{array}$ | $\begin{aligned} & \underline{\sim} \\ & \text { (ᄄ) } \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{\circ}}$ | $\stackrel{\sim}{N}$ | $\underset{N}{N}$ | $\stackrel{\sim}{\sim}$ | $\stackrel{\infty}{7}$ | 灾 | $\stackrel{\text { H }}{\mathbf{H}}$ | $\stackrel{\text { \％}}{0}$ | － | $\stackrel{\text { m }}{\stackrel{\sim}{\sim}}$ |
|  |  |  |  |  | $\underset{\sim}{\circ}$ |  | $\begin{array}{\|l\|l} \text { 类 } \end{array}$ | 区 | $\stackrel{\sim}{0}$ | \％ | \％ | $\stackrel{\sim}{\sim}$ | ® |  | J | － | 8 | 끌 |
| $\begin{aligned} & \text { 相 } \\ & \text { 菏 } \\ & \text { 箱 } \end{aligned}$ |  |  | $\begin{array}{l\|} \hline \hline \text { 圌 } \end{array}$ | 誉 |  |  | Hi木1 | 甽 | ${ }^{\circ}$ | ${ }_{0}$ | $\stackrel{-}{\circ}$ | ${ }_{0}$ | $\stackrel{-}{\circ}$ | $\stackrel{-}{0}$ | $0_{0}$ | － | $\stackrel{\sim}{-}$ | － |
|  |  |  |  | $\begin{aligned} & 8 \\ & \stackrel{8}{\circ} \\ & \mathbf{0} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { Bi } \\ & \stackrel{\rightharpoonup}{\circ} \\ & \stackrel{0}{9} \end{aligned}$ |  |  | $\begin{aligned} & \underline{\sim} \\ & \text { 마 } \end{aligned}$ | $\stackrel{7}{\stackrel{7}{7}}$ | $\begin{aligned} & \text { M } \\ & \underset{\omega}{\circ} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \underset{\sim}{J} \\ & \text { in } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{\circ}{\mathrm{o}} \\ & \text { in } \end{aligned}$ | $\stackrel{\infty}{\underset{\sim}{\circ}}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{N}}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{\rightharpoonup}{\underset{\sim}{*}} \\ & \hline \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \mathrm{N} \\ & \mathrm{c} \\ & \mathrm{o} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & 9 \\ & \underset{\sim}{7} \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{N}$ |
| $\begin{aligned} & * \\ & \text { * } \\ & \text { t } \end{aligned}$ | 8 | ～ | \％ | 8 | 응 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | $\stackrel{-}{-}$ | $\stackrel{\text {－}}{ }$ |  | $\begin{aligned} & \text { 类 } \\ & \text { 竺 } \\ & \text { in } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \underline{\sim} \\ & \text { 㽖 } \end{aligned}$ | $\stackrel{\text { n }}{\underset{\sim}{n}}$ | $\begin{gathered} \text { n } \\ \underset{\sim}{n} \\ \hline \end{gathered}$ | $\begin{aligned} & \underset{\sim}{2} \\ & \stackrel{y}{2} \end{aligned}$ | $\begin{gathered} \infty \\ \stackrel{\infty}{\infty} \\ \mathrm{m}^{2} \end{gathered}$ | $\begin{gathered} \text { 宩 } \\ \text { in } \end{gathered}$ | $\begin{gathered} \underset{\sim}{\infty} \\ \dot{\sim} \\ \hline \end{gathered}$ |  | $\begin{aligned} & \text { Lion } \\ & \stackrel{0}{0} \\ & \text { in } \end{aligned}$ | － | $\stackrel{\sim}{N}$ |
|  |  |  |  |  |  |  | $\begin{array}{\|l} \hline \text { 粯 } \\ \text { 准 } \end{array}$ | $\begin{aligned} & \underline{\boxed{4}} \\ & \text { 마 } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{8}{0} \\ & \stackrel{y}{*} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { No } \\ & \underset{\sim}{2} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & 9 \\ & 6 \\ & 0 \\ & \hline \end{aligned}$ | 年 | $\begin{aligned} & \tilde{\omega} \\ & \underset{\infty}{2} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \mathbf{~} \\ & \infty \\ & \dot{子} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \% \\ & \underset{\sim}{2} \\ & \dot{子} \end{aligned}$ | $\stackrel{\infty}{\text { \％}}$ | $\begin{aligned} & \text { ion } \\ & \stackrel{\circ}{\circ} \end{aligned}$ | $\underset{\text { a }}{\vec{\circ}}$ |
|  |  |  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & \text { 类 } \\ & \text { 庥 } \\ & \text { 荗 } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{\rightharpoonup}{木} \\ & \text { 叫 } \end{aligned}$ | $\begin{gathered} \infty \\ \underset{\sim}{\infty} \end{gathered}$ | $\begin{aligned} & \text { O- } \\ & \hline \mathbf{N} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \overrightarrow{0} \\ & \stackrel{\rightharpoonup}{2} \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{\sim}}$ | $\stackrel{\leftrightarrow}{\underset{\sim}{\sim}}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{2}}$ | $\begin{aligned} & \infty \\ & \underset{\sim}{0} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { or } \\ & \hline \end{aligned}$ | 等 | $\stackrel{\text { ¢ }}{\substack{\text { a } \\ \hline \\ \hline}}$ |
|  |  |  |  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & \underline{\sim} \\ & \text { 的 } \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\text { ®/ }}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{\infty}}$ | $\begin{aligned} & \text { m } \\ & \underset{\sim}{\prime} \end{aligned}$ |  | $\begin{aligned} & \text { ion } \\ & \stackrel{0}{m} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { Io } \\ & \mathbf{m} \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \vec{o} \\ & \text { min } \end{aligned}$ | $\frac{\tilde{N}}{\stackrel{N}{m}}$ | $\stackrel{ \pm}{\text { ¢ }}$ | $\stackrel{\circ}{\infty}$ |
|  |  |  |  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & \underline{( } \times{ }^{2} \\ & \text { 町 } \end{aligned}$ | $\stackrel{\underset{\sim}{\mathbf{N}}}{\stackrel{\rightharpoonup}{\mathbf{o}}}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{8}{0} \\ & \sim \end{aligned}$ | $\left\lvert\, \begin{aligned} & \underset{\infty}{\infty} \\ & \sim \end{aligned}\right.$ | $\begin{aligned} & \infty \\ & \infty \\ & \sim \\ & \hline \end{aligned}$ |  | F | $\begin{aligned} & \mathrm{m} \\ & \mathrm{~m} \end{aligned}$ | $\stackrel{\sim}{m}$ | $\stackrel{\circ}{\circ}$ | $\stackrel{\sim}{\sim}$ |
|  |  |  |  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & \underline{\alpha} \\ & \text { 畍 } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { ơ } \\ & \text { on } \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\underset{\sim}{\sim}}$ | $\stackrel{\Perp}{\sim}$ | $\stackrel{\underset{\sim}{\sim}}{\sim}$ | $\begin{aligned} & \text { న్లి } \\ & \hline \end{aligned}$ | $\stackrel{\sim}{\sim}$ | $$ | $\stackrel{\text { in }}{\substack{0 \\ \sim}}$ | N | $\stackrel{\text { ¢ }}{\substack{\text { a } \\ \sim \\ \sim}}$ |
|  |  |  |  |  | \％ |  | $\begin{aligned} & \text { 类 } \\ & \text { 合 } \\ & \text { N } \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \stackrel{\rightharpoonup}{c} \\ & \text { 㽖 } \end{aligned}$ | $\underset{\sim}{\text { G }}$ | $\begin{aligned} & \text { H } \\ & \mathbf{0} \\ & \hline \end{aligned}$ | $\stackrel{\hat{0}}{-1}$ | $\begin{aligned} & \text { ¢ } \\ & \hline-9 \end{aligned}$ | $\begin{gathered} \text { Mon } \\ \underset{-}{-} \end{gathered}$ | $\stackrel{\text { in }}{\sim}$ | $\begin{aligned} & \infty \\ & \stackrel{\infty}{\infty} \\ & \hline \end{aligned}$ | $\stackrel{\text { ® }}{\sim}$ | $\stackrel{\text { U }}{\text { ¢ }}$ | － |
|  |  |  |  |  |  |  | 类 | 吹 | $\underset{\infty}{m}$ | $\stackrel{\sim}{\infty}$ | \％\％ | $\underset{-}{\circ}$ |  | $\cdots$ | $\stackrel{\circ}{\square}$ | $\stackrel{\sim}{\sim}$ | $\stackrel{0}{9}$ | $\stackrel{\sim}{\text { ² }}$ |
|  |  |  |  |  | $\begin{aligned} & z \\ & ? \\ & z \end{aligned}$ |  | $$ | $\begin{aligned} & \text { 区 } \\ & \text { 叶 } \end{aligned}$ |  |  |  |  |  | 응 | ～～0 | N్ర్ర | $\stackrel{\infty}{\circ}$ | in |
|  |  |  |  |  | ? |  | 1才1兄 | 米 | $\bigcirc$ | － | $\sim$ | $m$ | $\checkmark$ | \％ | $\omega$ | N | $\infty$ | or |


広報とちお おしらせ版

交通事故相談所開設
䕀の移動交通事故相談所を下記の日程で開設いたします。
1010知入て，交通事故
ありましたら，せひ相護を受けるよう こうすすめください。
なか，相ばは無神です。相険内容は日時／7月18日（火） 7 年前 10 時～午後 3 時会場ノ市役所市长相談窒（2階）

## 新 着 図 書 案 内 <br> 市公长睥は，図書室に次の新着図書 ぞご利用くだきい <br> 回（土荌）－文化財磁坐日本の美術 <br> 民 美津代者 笾選知事五代（下卷）／新渴日報社蛹 世界の比話（アルパ二ア，順著 世界の児重画楽 山本周五郎強豪小談集 趣味のたのしみンリーズ（版芸入所）明治大正龱菭（ 4 棤洪•袖戸，15九州）アルタス服懒詖社自然 束典（学研社）全12卷 <br> 図書室利用者から，図書購入の参考 として，図费睛入希害符と用錐を設設



# 広報とちお おしらせ版 





おしらせ版号外

## 国民年金の特例納付で

 すべての人に年金権を！
## 資格期間は短縮される

| 民年金が始まった昭 | 生 年月日 | 期閏 |
| :---: | :---: | :---: |
| 和36年にすでに歳をとっ |  |  |
| ていた人は25年は無理な | $\left\lvert\, \begin{aligned} & \text { 大 } 5 \cdot 4 \cdot 1 \text { 以前 } \\ & \text { 大 } 6 \cdot 4 \cdot 1 \text { 以前 } \end{aligned}\right.$ | $\begin{aligned} & \text { 10年 } \\ & \text { 11年 } \end{aligned}$ |
| ので，資格期間は右表の | 大7 | 12年 |
| とおり短縮きれています。 | 大8． 4 | 13年 |
|  | 大 9 － $4 \cdot 1$ 以前 | 14年 |
|  | 大10－4－1 以前 | 15年 |
| ＊カラ期間とは | 大 11.4 － 1 以前 | 16年 |
| 給がもらえるとか | 大12．4 | 年 |
| 厚生年金に加入 | 大 $13 \cdot 4 \cdot 1$ 以前 | 18 |
| るなどの理由で， | 大 $15 \cdot 4 \cdot 1$ | 20年 |
| － | 昭 $2 \cdot 4 \cdot 1$ 以前 | 21年 |
|  | 昭3－4．1以前 | 22年 |
| が，加大し | 昭4－4．1以前 | 23年 |
|  | 昭5．4．1以 | 24年 |

## 特別相談週間 $7 / 3 \sim 7 / 5$

これから60歲まで保険料を納めても資格期間 が足りないとあきらめるのは早計です。
国民年金の特例納付によって過去にさかのは
って餈格を回復することができます。
年金を受けられるかどうか不安のかたは，早
急に市民課へ相談においでください。
特に
（1）今，何の年金制度にも加入していない人。
（2）国民年金に加入していたが，過去に保険料の

## 滞納がある人

（3）厚生年金の加入期間がはっきそしなかったり脱退一時金をもらった期間があるために，資格期間が足りるかとうか疑問の人。
（4）年金手帪がない人，あっても異動の貶録がし

## てない人。

## （5）その他

※相談には，印鑑•年金手帳•職歴のメモを持参して下さい。
※任意加入対象期間は，特例納付はできません


[^0]:    「栃尾市中小企業構造不況•円高対策特別保証制度」の取扱期間が $6 / 1$

[^1]:    ## 

    
    
    
    
    
    
    
    

